



【特集】

海でつながる2つの島国

■ 郷の音 佐々木とも子さん

■ 暮らし

- ・小・中学校運動会
- ・犬楽園 新入学フェスタ開催
- ・レポート 運動不足を解消して気分もリフレッシュ!!

■ お知らせ

小 中 学 校

運 動 会

寄磯
小学校



鮎川
小学校



牡鹿
中学校



けつ(=風)圧測定?

5月26日に行なわれた牡鹿中学校運動会。保護者や住民がたくさんの声援を送りました。全校生徒30人が参加した赤白対抗大縄跳びでは、両チームとも、息のあった素晴らしいプレーでした。保護者も参加した玉入れでは、ビックリするほどたくさんの球が飛び交い、生徒と保護者のパワーに圧倒されました。生徒全員による侍ソランでは、アンコールの声が上がり、生徒たちはその声に応じて演舞を披露しました。牡鹿住民は、子どもたちの舞う姿にいつも勇気をもつことなのでしょう。

大原
小学校



雨のため1日順延の5月20日に行われた各小学校の運動会。天気も良く、子どもたちと教員、卒業生のお兄さん、お姉さん、保護者や地域住民、ボランティアの人たちが力を合わせて一体となり競技をしました。笑顔があふれ、ほのほとした楽しい運動会となりました。

海でつながる2つの島国



毎

年春になると遠く6,000キロ離れた島国インドネシアから、日本の漁業を学ぼうと20人ほどの漁業実習生たちが牡鹿にやってきます。

彼らはインドネシアの西ジャワ地方に位置するインドラマユやチルボンという漁業が盛んな地域出身の20歳くらいの男子たちです。

世界の中でも指折りの漁獲量を誇る日本ですが、実は1990年ころから漁獲量は少しずつ下がりはじめ、現在では全盛期の3分の1程度になっています。

そんな日本とは対照的に年々漁獲量を増やし、世界2位の漁獲量を誇る漁業大国、それが漁業実習生たちがやってくる島国「インドネシア」です。

インドネシアはどこにあるの？



しかし、インドネシアの漁船の大多数は、車やバイクのエンジンを搭載した木造船で手作業での漁をしており、日本の漁船との技術差が非常に大きいのが現状です。右肩上がりに漁業が盛んになる一方で、漁船の設備や鮮魚の管理についてはまだまだ不足している部分がたくさんあります。

そうした中、石巻市では2007年から現地西ジャワ州と外国人研修や技能実習制度の協定を結び、実習生の受け入れをはじめました。牡鹿漁業協同組合では定置網漁への実習生の受け入れを実施しています。

また、実習生を受け入れることは漁業従事者の人手不足にも貢献しており、彼らの働きが世界三大漁場をひかえる牡鹿の漁業の支えになっています。

世界の漁獲量ランキング

1位	中国	81,529,159
2位	インドネシア	23,200,421
3位	インド	10,785,334
4位	ベトナム	6,420,471
5位	アメリカ	5,375,386
6位	ロシア	4,947,253
7位	日本	4,343,257
8位	フィリピン	4,228,906

単位トン
：
(2016年)

参照：国際連合食糧農業機関 HP より

母国のために日本の漁業を学ぶ

実習生は牡鹿の定置網漁船に乗船します。季節によって水揚げされる魚の種類は様々で、一度の水揚げでたくさん魚が船上を埋め尽くす定置網漁法や網の仕掛け方、網の修理法など、漁師さんの作業一つ一つが彼らにとっての学びとなります。

5月に行われた新人研修の時には「インドネシアに戻ったら船を買いたい！」と意気込んでいた実習生もいました。牡鹿で学んだ漁業技術を糧に、母国インドネシアの漁業を発展させようという志を感じました。

彼らはこれから3年間に渡り、牡鹿の地で日本の漁業技術を学びながら、日本の暮らしや文化も体感します。

牡鹿の暮らしに触れる

外国で暮らす上で、言葉のハードルはつきもの。彼らにとって日本語で会話をすることは、もしかすると漁をすること以上に大変なことかも知れません。もちろん、実習生たちは日本に来る前から勉強に励んでいます。それはいわゆる標準語と言われる日本語。牡鹿の方言や漁師さんの専門用語は彼



地元のお祭にも参加しました



ら実習生には初耳の連発。たぶん、こう思っていることでしょう。「あれ、習った日本語とちよつと違うぞ」と。それでも、毎日漁師さんと交わした浜の言葉が彼らにとつての日本語となり、牡鹿で生活を共にすることが日本の文化に触れることになるのだと思います。

最初は言葉が分からなくても、漁業を通じて同じ時間を過ごしていくことで、少しずつ家族のような絆が築かれていくことでしょう。



教えて!! インドネシアの暮らし

家族から離れ、遠く日本へやってきた実習生たち。彼らの母国インドネシアの暮らしをご紹介します。

★ およそ300種族の人種がいる

インドネシアは13,000ほどの島からなっているため、たくさんの人種がいます。肌の色や顔のほりの深さなどの見た目も、また母語とする言語も地域によってさまざまです。

★ 豚肉は食べません、お酒も飲みません

インドネシア人のうち、最も多いのはイスラム教徒です。た、オランダ植民地時代の影響もあり、キリスト教徒なども多く、バリ島の主な宗教はヒンズー教です。

イスラム教では、豚肉、アルコールは禁止されているため食べない人が多いです。売っているところが限られていて、日本の2倍近い値段がします。

★ トイレトペーパーは使いません

インドネシアでは、普通は用を足した後に水で洗い流します。たとえば、トイレトペーパーがあっても水に流さず、ゴミ箱に捨てます。トイレの管が細く、詰まりやすいからです。

レポート

運動不足を解消して 気分もリフレッシュ!!

いんぷお編集室メンバーで、「牡鹿交流センターほっとまる」のプールに行ってきました!

牡鹿半島の清崎には、「牡鹿交流センターほっとまる」という公共施設があります。石巻市図書館牡鹿分館やサウナ付きの入浴施設、温水プール、トレーニング機材などが完備され、どなたでも利用できます。

温水プール内に併設されているジャグジー風呂が、震災で故障していましたが、修理を終えてこの4月から利用できるようになりました!!

百聞は一見にしかず。いんぷお編集室メンバーは、温水プールとジャグジー風呂を体験しにほっとまるへ。デスクワークが多く、ちょっとした移動にも車を使う私たち。何を隠そう、本当に運動不足です。プールで泳ぐと、普段は使わない筋肉を動かしているようで、とても気持ちがいいですね。ちなみに、水中での運動のエネルギー・カロリー消費量は、陸上と比べて何倍もあるそうです。少し泳いだけで、心地よい疲労感が・・・。

その後にジャグジー風呂に入ると体が温まり、シュワシュワ吹き出す泡で、こわばった筋肉がほぐれます。そのまま寝てしまいそう。

水の音が心地よく、なんだか騒がしい日常から離れられたようです。体も心もリフレッシュすることができました。(たなか)



犬楽園 新入学ラエスタ開催
可愛いワンちゃんがいっぱい!
5月27日、荻浜にあるはまさいさい前の広場で犬のしつけ教室が開催され、たくさんの愛らしいワンちゃんたちが飼い主とともに参加しました。
「犬楽園」は、犬と人が楽しく安心して生活していくことを目指して、情報や知識の交換、犬仲間づくりをしています。イベントでは、しつけ教室の他に、災害時の同行避難や困りごとについてもお話がありました。
次回は、秋に開催する予定です。



- 5/21 牡鹿鯨まつり 実行委員会開催**
2018年の鯨まつりは、8月5日(日)に決定しました。
- 5/28 ビジターセンター開設に向けた トークフォーラム開催**
参加者は、牡鹿の豊かさを再認識。自然の保全と適切な利用を推進しながら地域経済に還元していくことがビジターセンターに求められている。
- 6/8 初心者のための優しいウォーキング教室開催**
磯の香りを満喫。短い時間でも週に3回ほど、継続することが大切。

郷の音



佐々木 とも子さん

前網浜で暮らして50年目になる佐々木とも子さん。若い頃は漁業を営んでいたそうです。数年前、ちりめん布を使った小物作りを始めて、今ではたくさんの人にプレゼントしています。小物作りの事や、これまでのお話を伺ってきました。



佐々木さんが作った小物。写真右にあるキーホルダーの中にはしゅうり具、あざり、しじみが入っています。

前網浜で暮らしている佐々木とも子さんは、海で採れた貝殻にちりめん布をくるませた手作りのキーホルダー(写真上)やつまみ細工、ふくろうの置物などを作り、家に訪れた人たちにプレゼントしています。
佐々木さんは現在70歳。大和町の農家に生まれて19歳の時に前網浜に嫁いできました。家業はワカメ、海苔、ホヤの養殖やイカ、しらす、メロウド漁で生計を立てていたそうです。
「よく19歳で来たなあって…。本当は浜に来るのは嫌だったんだよ。私らの時代は親が決めるつちや。でも、いいところだったから50年も暮らしてるんだよね。働くのは嫌じゃなかったの。浜の仕事は一朝でいい時は収入になるからね。『これは!』って思ったよ。」
佐々木さんが小物作りを始めたのは震災後のことだそうです。知り合いが作っているのを見て作り始めたところ、楽しくて止まらなくなったそう。それでも、震災後2年ほどは、人と会うことや話をする事ができなくなり、夜も眠れなかったり、食事も美味しく食べることができない日々が続いたそうです。「あの頃、よく生きていたなっと思うんだ。」と話されました。
ある朝、カーテンを開けた時に空や海がとても綺麗に新鮮に見えて、その後どんどん体調が良くなり、家に来た人や浜で瓦礫撤去をしている人たちに食事をご馳走するようになっていったそうです。
現在は、庭の花を育てたり、小物作りに夢中になっているそうで、いんぷおメンバーにも紐を菊結びにする方法を教えていただきました。
佐々木さんの手作りの小物を持っている方、いらしゃるのではないですか。

▶ **おらほの家が移転しました**

コミュニティハウス【おらほの家】が清水田浜から小淵浜に引っ越しました。引越し先は県道沿い、小淵浜のバス停留所の向かいです今後とも変わらぬご利用ください。

住所：〒986-2415 石巻市小淵浜狩又10-1
電話番号：080-4811-7578(本庄)



▶ **はまさいさいがランチ営業を再開!!**

浜の元気なお母さんたちが、牡蠣やワカメの収穫を終えて、荻浜の「はまさいさい」に戻ってきました。週末限定で、お母さんたちの愛情がたっぷりつまった手料理を楽しめます。

営業日：毎週土曜日・日曜日
営業時間：午前11時～午後2時30分(ラストオーダー 午後2時)
電話番号：0225-98-7663
住所：〒986-2341 石巻市荻浜75



皆様のご来店を心よりお待ちしております。

いんぷお編集室より

▶ **石巻市図書館 牡鹿分館のおすすめの本!!**

今から千年以上前の平安時代、京の都には羅生門と呼ばれた門がありました。平安中期にはさびれて、盗賊の住み家になっていたといわれています。羅生門を中心にした話は、平安末期の「今昔物語集」などがあり、さらに現代風書き改めた芥川龍之介の「羅生門」もあります。なんと、子ども向けの絵本になった「羅生門」が図書館にありました。

—— 悪とは何か。—— 盗賊に育てられた主人公 ゆきまろの葛藤から、はっとさせられる1冊です。

絵本【羅生門】



▶ **楽しい催しがいっぱい公民館**

開館時間：午前8時30分から午後5時15分
(利用申請があるときは午後9時まで利用可)
休館日：土・日、祝日、12月29日から1月3日まで
(利用申請があるときは土日、祝日も利用可)
お問合せ：牡鹿公民館 / 牡鹿保健福祉センター「清優館」
電話 0225-45-2611 FAX0225-45-2196
●ご利用に関してはお気軽にお問い合わせください。

牡鹿公民館は、牡鹿保健福祉センター「清優館」を利用して公民館事業を実施しています。

今年度もヨガやウォーキングなど、各種事業を計画しています。また、清優館はカラオケ、ダンベルなどのサークル活動や各種イベントの場として利用されていますので、ぜひご参加ください。



てくてくおしか
ジメジメとする梅雨の季節がやってきましたね。これからの季節はカビが生えやすいので、食品の管理に注意が必要です。
先日、福貴浦にイルカが2頭迷い込み、仲良く泳いでいる様子がテレビで放映されました。牡鹿半島内でイルカが見られたと聞いたのは初めての事でしたが、群れからはぐれたイルカは、残念なことに力尽きてしまいました。いんぷお・おしかのメンバーも見に行き、泳いでいる姿を動画でフェイスブックにアップしました。
水族館で写真を撮るようにはいきませんが、良かったら見てくださいね。

お問合せ

〒986-2523 石巻市鮎川浜寺前 18-2 tel:0225-98-8491
編集・発行：いんぷお・おしか発行室(石巻市牡鹿地区復興応援隊)
発行部数：2,000部

facebook
やってます

